

団 体 名	(公財)大阪科学振興協会	所 管 局 名	経済戦略局
-------	--------------	---------	-------

市が法人に求める役割

- **科学及び科学技術の普及振興を図る社会教育施設の機能維持**
 - ・科学及び科学技術を市民に伝える場を提供するため、大阪市立科学館を安定的に運営し、普及啓発、普及教育並びに調査研究を行う。
- **「大阪市ミュージアムビジョン」の実現に向けた推進**
 - ・本市博物館施設が博物館群としてめざす姿と、各館が専門性や特徴を活かして取り組む活動を示す「大阪市ミュージアムビジョン」の実現に向けた本市との連携。
- **博物館施設の地方独立行政法人化に向けた先行的な取り組み**
 - ・市が新たに設置する地方独立行政法人がめざすべき運営のあり方の基礎となるよう、関連機関との連携を通じて博物館活動の活性化と新たな都市魅力の創造をはかる。

対応方針

1. **大阪市立科学館の効率的・効果的な運営**
 展示場とプラネタリウムホールの充実を図り、入館者数及び収入の増加をめざす。
2. **博物館施設の地方独立行政法人化に向けた(公財)大阪市博物館協会等との連携業務の推進**
 将来の地方独立行政法人化を見据えて、(公財)大阪市博物館協会や、他の博物館施設等と博物館活動の活性化をめざして連携・協働事業を積極的に展開する。

戦略目標

- ① **独法化を見据えた入館者数の増加**
 - ・入館者数(展示場とプラネタリウムの合計)
 [720千人(H29見込)
 →400千人(H30)]
- ② **自主事業収入額等の増収**
 [225百万円(H29見込)
 →140百万円(H30)]
- ③ **(公財)大阪市博物館協会等との連携型事業の推進**
 - ・(公財)大阪市博物館協会等との連携型事業件数
 [9件(H29見込)
 →8件(H30)]

【参考:中期経営計画の目標値】

様式 2

中期経営計画に基づく基本方針(目標設定の考え方)

団 体 名	(公財)大阪科学振興協会	所 管 局 名	経済戦略局
-------	--------------	---------	-------

○中期経営計画の概要

中期ビジョン (団体が目指す 中期の到達点)	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪市立科学館の展示場とプラネタリウムホールの質的向上を通じて、お客様満足度の向上を図り、入館者数及び収入の増加を図る。 ・市民の皆さまをはじめ、行政機関、大学、博物館施設や各種団体との連携を強化し、新しい広報手段であるSNS等による情報発信を活発にすることで、利用者数の拡大と収入増加の好循環を作り出す。 ・お客様ニーズを細かく把握・分析し、幅広い世代へ積極的にアピールし、集客層の裾野を広げる。 ・協会職員・関係者の基礎活動を重視し、その能力の強化を図るとともに、協会全体として総合力を発揮し、博物館施設の独立行政法人化に備える。 		
中期経営計画名称 (計画期間)	—	公表先URL	—

○最終年度の到達目標

戦 略	成果測定指標	単 位	最終年度の 到達目標	目標達成のための活動事項
独法化を見据えた 入館者数の増加	入館者数	千人	—	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展示の充実化 ・プラネタリウム事業の進化 ・国際交流によるグローバルな企画の実現
自主事業収入額等 の増収	自主事業等による収 入金額	百万 円	—	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ番組制作者と学芸員との共同による、さらに上質なプラネタリウム制作 ・幼児とその保護者向けプログラム導入などプラネタリウム番組の多様化 ・売店における商品構成の充実、新規商品の開発 ・企画展示・イベント等の企画・実施
(公財)大阪市博物 館協会等との連携 型事業の推進	(公財)大阪市博物館協 会等との連携型事業件 数	件	—	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪市博物館協会との総務部門を含めた連携会議の開催 ・ミュージアムウィークス等の共同企画の実施や新規事業の企画・実施 ・共同研究の実施検討 ・大学等対象のキャンパスメンバーズ制度の実施

○平成30年度経営目標

1. CS(市民満足)、事業効果(設立目的と事業内容の適合性)

戦略目標	成果測定指標	単位	H30 目標	中計 H30 目標	H30 目標値設定の考え方 (数値の根拠)
独法化を見据えた 入館者数の増加	入館者数	千人	400	—	<p>・平成31年度地方独立行政法人化を見据え、自らの力で運営していくため「常設展示の改装」、「プラネタリウム投影機の更新及びホールの改修」、「お客様満足度向上に向けた設備更新等」等で事業基盤を拡充していき、当協会が担ってきた事業のスムーズな新法人への移行を進める。</p> <p>・昨年度、平成31年度に75万人の入館者目標を達成するため、平成30年度は74万人を目標とする方針を掲げていたが、今年度、耐震補強として吊天井改修工事を大阪市において実施することとなった。そのため、展示場が9月より閉館することとなり、プラネタリウムのみの開館となる。</p> <p>・さらに、この休館時を利用して老朽化したプラネタリウムも更新することとし、そのため12月より全館休館となる。</p> <p>・このため、秋の遠足時期に当たる9月～11月に展示場の閉館並びに昼食場所や待機場所が確保できないため団体客の来館が見込めず、入館者も相当数減となる予想である。</p> <p>・よって、今年度の目標としては平成29年度の4月～8月の入館者実績及び、9月～11月のプラネタリウムの実績値の約7割を想定した40万人を目標とする。</p>

2. 財務(健全性、採算性)、効率性(コスト抑制と経営資源の有効活用、自立性の向上)

戦略目標	成果測定指標	単位	H30 目標	中計 H30 目標	H30 目標値設定の考え方 (数値の根拠)
自主事業収入額等の増収	自主事業等による収入金額	百万円	140	—	<p>・入館者数400千人を達成した場合の予算数字とする</p>

3. その他(市から自立化するための取組み、法人の経営上重要と認められるもの)

戦略目標	成果測定指標	単位	H30 目標	中計 H30 目標	H30 目標値設定の考え方 (数値の根拠)
(公財)大阪市博物館協会等との連携型事業の推進	(公財)大阪市博物館協会等との連携型事業件数	件	8	—	<p>・平成29年度実績9件に対し、休館による影響も含めて8件を目標とする。但し、これは平成28年度までの実績を上回るものである。</p>

様 式 3

平成30年度経営目標設定表

団 体 名	(公財)大阪科学振興協会	所 管 局 名	経済戦略局
-------	--------------	---------	-------

○中期経営計画の概要

団体経営者の考え (H30の課題と重点目標)	「大阪市ミュージアムビジョン」で示された取り組みを進め、大阪市立科学館のミッションである「科学を楽しむ文化の振興」を実現するため、事業基盤を最大限拡充する。 入館者数については、平成30年度に実施する吊天井改修工事やプラネタリウム機器更新工事等による長期閉館することから、昨年度実績を元にH30年度は400千人とする。
---------------------------	--

○平成30年度経営目標

1. CS(市民満足)、事業効果(設立目的と事業内容の適合性)

戦略目標	成果測定指標	単位	H28実績	H29実績	H30目標	ウェイト	前年度実績比較	戦略目標達成のための活動事項
独法化を見据えた入館者数の増加	入館者数	千人	732	720	400	50	低い	<ul style="list-style-type: none"> ・新規展示物の制作と試作、既存の展示物の改良 ・外部講師を招いて研修等を行い、当館オリジナルプログラムと生解説をさらに充実させ、質の向上とスキルアップを図る。 ・クエスタコン(オーストラリア国立科学技術センター)への学芸員派遣や秋に実施される巡回展において連携を行うなど、館のステータスの向上を図る。

2. 財務(健全性、採算性)、効率性(コスト抑制と経営資源の有効活用、自立性の向上)

戦略目標	成果測定指標	単位	H28実績	H29実績	H30目標	ウェイト	前年度実績比較	戦略目標達成のための活動事項
自主事業収入額等の増収	自主事業等による収入金額	百万円	230	225	140	30	低い	<ul style="list-style-type: none"> ・上記活動事項により大人の入館者数の増加や、キャンパスメンバーズの料金体系の改定・見直しに伴う参加校の増加を図り、入館料並びに売店収入の増加を図る。

3. その他(市から自立化するための取組み、法人の経営上重要と認められるもの)

戦略目標	成果測定指標	単位	H28実績	H29実績	H30目標	ウェイト	前年度実績比較	戦略目標達成のための活動事項
(公財)大阪市博物館協会等との連携型事業の推進	(公財)大阪市博物館協会等との連携型事業件数	件	5	9	8	20	低い	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪市博物館協会との総務部門を含めた連携会議の開催 ・大学等対象のキャンパスメンバーズ制度の実施。 ・国立国際美術館との相互連携 ・他の博物館施設等と連携した企画展の実施。

補足説明資料1

前年度実績より高い目標を設定できない理由について

団 体 名	(公財)大阪科学振興協会	所 管 局 名	経済戦略局
-------	--------------	---------	-------

経営目標①

視点	戦略目標	成果測定指標	単位	H28 実績	H29 実績	H30 目標	ウェイト	前年度 実績比較
1. CS、事業効果	独法化を見据えた入館者数の増加	入館者数	千人	732	720	400	50	低い

前年度実績より高い目標を設定できない理由	吊天井改修工事に伴い、展示場が平成30年9月から平成31年3月まで休館し、また、この休館時を利用して老朽化しているプラネタリウムの機器更新を平成30年12月から平成31年3月まで行うことによるプラネタリウムを含めた全館休館となり、営業日数が少なくなるため
----------------------	---

団 体 が 考 え る 目 標 困 難 度	高い
-----------------------------	----

経営目標②

視点	戦略目標	成果測定指標	単位	H28 実績	H29 実績	H30 目標	ウェイト	前年度 実績比較
2. 財務、効率性	自主事業収入額等の増収	自主事業等による収入金額	百万円	230	225	140	30	低い

前年度実績より高い目標を設定できない理由	吊天井改修工事に伴い、展示場が平成30年9月から平成31年3月まで休館し、また、この休館時を利用して老朽化しているプラネタリウムの機器更新を平成30年12月から平成31年3月まで行うことによるプラネタリウムを含めた全館休館となり、営業日数が少なくなるため
----------------------	---

団 体 が 考 え る 目 標 困 難 度	高い
-----------------------------	----

補足説明資料1

前年度実績より高い目標を設定できない理由について

団 体 名	(公財)大阪科学振興協会	所 管 局 名	経済戦略局
-------	--------------	---------	-------

経営目標③

視点	戦略目標	成果測定指標	単位	H28 実績	H29 実績	H30 目標	ウェイト	前年度 実績比較
3. その他	(公財)大阪市博物館協会等との連携型事業の推進	(公財)大阪市博物館協会等との連携型事業件数	件	5	9	8	20	低い

前年度実績より高い目標を設定できない理由	吊天井改修工事に伴い、展示場が平成30年9月から平成31年3月まで休館し、また、この休館時を利用して老朽化しているプラネタリウムの機器更新を平成30年12月から平成31年3月まで行うことによるプラネタリウムを含めた全館休館となり、営業日数が少なくなるため
----------------------	---

団 体 が 考 え る 目 標 困 難 度	高い
-----------------------------	----